



骨粗鬆症リエゾンマネージャーが誕生

骨粗鬆症とは、骨量の減少や骨質の劣化により骨の強度が低下し、骨折しやすくなる病気です。骨粗鬆症になると「転んだ」「尻もちをついた」等の日常起こりうることで、背骨や太もものつけ根、手首などの骨折を生じやすくなります。また、骨折が治るまでの間に全身状態が低下し、寝たきりになるおそれもあります。

骨粗鬆症リエゾンマネージャーは、骨粗鬆症の予防と改善、骨折の防止を目的として活動をしています。医師や様々な職業の医療スタッフ(看護師、リハビリ、薬剤師、栄養士、検査技師など)とお互いに連携しながら取り組んでいます。

今回、当院理学療法士の一川祥子、赤座和樹、牧野茜、作業療法士の渡辺勇気の4名が骨粗鬆症リエゾンマネージャーの資格を取得しました。専門スタッフとして、より充実した骨粗鬆症の予防、治療を皆様に提供できるよう努めて参ります。

骨粗鬆症の不安がある方は、骨粗鬆症リエゾンマネージャーのいる当院整形外科(フレイル・サルコペニア・骨粗鬆症外来)にご相談ください。



立体駐車場南側の駐車枠拡幅工事を実施

立体駐車場2階につきましては、駐車枠を広げ、ご好評いただいておりますが、特に階段の使用が困難な方には、ご不便をおかけしておりました。

この度、1階の南側2列にも広いエリアをご用意しましたので、ぜひご活用ください。

